

# アル・アクサ洪水第553日目：ハーン・ユニス、激しい砲撃を受ける | 情報部の予備役が抗議行動に参加

Palestine Chronicle、2025年4月11日、脇浜義明訳 \*脚注は訳注



イスラエルはガザでの虐殺を続けている。(Photo: social media, via QNN)

## 主要事項

- \* ハーン・ユニスの北部の民家へのイスラエル軍の砲撃で4人のパレスチナ人が死亡し、多数が負傷した。
- \* イスラエル情報部隊第8200部隊の予備役兵数百人がガザ戦争終結を求める署名活動に参加した。
- \* ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日から続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は50,846人で、負傷者は115,729人となった。その多くは女性と子どもである。

## 最新情報

4月11日 4:45 pm (パレスチナ時間)

\* イスラエル国家安全保障研究所：現在のガザの状態をいつまでも継続し、その状態に関する決定を先延ばししているのは、最悪の選択である。ガザの将来に関して政府が新しい計画案を出せないことがハマスのガザ支配を継続させることになり、混乱への扉を開くことになる。現在わが国が面している戦略的混乱は、戦争開始以降の間違った政策の結果である。

\* ナセル病院小児科長 (アル・ジャジーラの取材で)：ガザ回廊は飢餓の第5ステージで、非常に危険な状態だ。子どもたちにビタミン不足の病状が現れている。住民は全部貧血症状だ。急性肺炎が広まっている。

\* トルコ大統領エルドアン：世界の沈黙と無関心のためにイスラエルはますます横柄になっている。誰もパレスチナ人をテロリストと呼ぶ権利はないし、パレスチナ人の戦いにテロというレッテルを貼って侮辱することはできない。テロリストはイスラエルの方で、イスラエルをテロリスト国家と規定するしかない。

\* ハマス最高幹部 (アル・ジャジーラの取材で)：我々は新たな停戦案を受け取っていない。我々はイード・アル・フィトル祭の前に仲介者から最新の提案を受け、それに同意したことを発表した。我々は停戦とイスラエル占領軍の撤退を実現する新たな提案ならば受け入れる用意がある。

4月11日 4:04 pm

\*アル・ジャジーラ：米国上院情報委員会は、イスラエルのネタニヤフ首相のシン・ベト長官解任に関して、首相の決定は民主主義への脅威ではない、ネタニヤフが信用しないシン・ベト長官を我々が信頼できるわけがない、と議論した。

\*イスラエル空軍司令官（予備役兵の反戦署名活動への参加に関して）：歴史的戦争の最中に軍を弱めるような行動は許されない。戦争終結を求める署名運動は軍と国家への信頼の欠如を表すもので、軍の団結を傷つける行為で、戦争中にやるべきことではない。

\*インドネシア外務省：我々は長い間パレスチナ人の解放闘争を支持してきた。唯一の紛争解決の道は2カ国解決案である。我々はパレスチナ人を彼らの領土から移転させることには、いかなる口実で行われようと、断固反対する。我々はパレスチナ人を支援する用意がある。我々が支援として提案することは地域の国々の同意に基づかなければならない。

\*エジプトの外務大臣：我々が今日行った協議は重要で実りの多いものだった。エジプトとカタールは捕虜交換を実現させるように日々努力している。イスラエルは停戦協定へ戻ってその義務を果たすべきだ。我々はパレスチナ人が自分たちの領土に留まることを求める。戦後のガザは臨時委員会が半年間統治した後、パレスチナ自治政府に統治権を渡す。ガザのパレスチナ人の移住案には断固反対である。いかなる名目も提起されようと、我々は反対する。それはパレスチナ問題の消滅につながる。

\*サウジアラビアの外務大臣：ガザ回廊の停戦へすぐにでも戻るべきである。ガザへの援助物資搬入を停戦と結びつけてはならない。我々は援助物資がガザの人々に届くようにイスラエルに圧力をかけることを国際社会に要請する。我々はガザ停戦交渉実現の努力を支持し、仲介者のカタール、エジプト、米国の努力を賞賛する。我々はどんな名目にもせよガザからパレスチナ人を移住させることには断固反対する。我々は、独立国を樹立するパレスチナ人の権利を保証する恒久的で包括的な和平に向かう道を支持する。

\*ネタニヤフ首相声明：ガザ戦争終結署名運動は敵に対する弱さのメッセージだ。兵役拒否を奨励する者は誰であろうと即刻解雇する。抗議の署名の請願文を書いたのは、外国から金をもらってその指示で動く少数の連中で、彼らの目的は政府の転覆だ。兵役拒否を奨励する者は即刻追放されるであろう。

\*元首相オルメルト：わが国はますます内乱に近づいてきた。ネタニヤフ派暴徒が引き起こした最高裁の騒ぎは国家機構を破壊するプロセスの新段階だ。

\*ハマス声明：10年間の獄中の独房生活の未釈放されたアハメド・マナスラは囚人に対するイスラエルの犯罪の生き証人である<sup>1</sup>。我々は、国際的人権団体と国連に、イスラエルのパレスチナ囚人に対する人権侵害犯罪を調査し、囚人を保護し、イスラエル指導者に責任をとらせることを要求する。

\*WHO：WHOはガザ回廊の薬品ストックが、封鎖と医薬品搬入の妨害のために、非常に低くなっていると警告した。

**4月11日 12:37 pm**

\*アル・ジャジーラ：イスラエル警察は、テロをやろうと計画していた2人のイスラエル人を逮捕したと発表した。

\*カン：ネタニヤフ連立内閣政党的20人の議員に、化学物質が入れられた封書の脅迫状が届いた。

**4月11日 11:41 am**

\*カン：イスラエル軍情報師団内部でガザ戦争継続に反対する抗議署名請願書が起草された。

\*チャンネル13：イスラエル情報部隊第8200部隊の予備役兵数百人がガザ戦争終結を求める署名活動に参加した。

\*WHO：WHOのテドロス・アダノム・ゲブレイエスは、イスラエル占領軍が国連派遣団の75%を、ガザ封鎖を理由に、ガザへ入ることを止めたことを確認した。

\*マアリブ紙（ベン・グヴィル国家安全保障大臣を引用）：我々はガザの食糧倉庫や発電施設を爆撃して破壊するべきだ。ハマスは人質を確保維持することで立場を有利にしようとしている。人質を取り返すためには、ハマスを制圧しなければならない。最高裁の裁判官たちは我々とは異なる考えと計画があるようだ。

\*アル・ジャジーラ：ハーン・ユニス北部の民家へのイスラエル軍の砲撃で4人のパレスチナ人が死亡し、多数が負傷した。

\*イエメン・メディア：米軍が首都サナアを数回空爆した。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はラファ市北部地区へ砲撃して建築物破壊作戦を行っている。

---

<sup>1</sup> マナスラは2015年当時のイスラエル・パレスチナ暴力連鎖のシンボリック的存在。13歳のとき15歳のいとことともに包丁を持って東エルサレムの入植地を襲撃した。いとこは射殺されたが、マナスラは逃亡中に自動車ぶつかり、瀕死の状態状態で路上に転がっていた。それをイスラエル人が嘲る映像が流れ、アラブ人が激怒した。マナスラは殺人未遂で収監。獄中で虐待されて総合失調症となった。アムネステイや弁護士の活動にもかかわらず10年近く獄中生活をおくり、23歳で釈放されたが、病状は厳しく、親は彼へのメディア取材を断っているほどである。

\*アル・ジャジーラ：パレスチナ人の NGO ネットワークは、国際社会が介入してガザへの検問所すべての開放と救援物資と医薬品のガザ搬入を可能にすることを、要請した。

\*アル・ジャジーラ：人質問題担当の米特使は、人質解放のためなら誰とでも話すと、CNN に語った。